

企業との協働の森づくり事業 「住宅情報館 檜の森」協定調印式及び植林式

6月3日(月)、鏡野町役場大会議室にて、鏡野町と住宅情報館株式会社との事業協力に関する協定の調印式が行われ、山崎町長と住宅情報館株式会社代表取締役社長が2通の協定書にそれぞれ署名押印しました。これは、住宅情報館株式会社は住宅の材料として美作檜を使用していることから、美作檜の産地である鏡野町において新植を行い、森林環境の改善や活性化、持続可能な森林利用の推進に取り組むことにより、次世代へ豊かな森林を、より良い状態で継承していくことが可能になるといえるものです。

また、この調印を記念して、6月4日(火)に鏡野町奥津地内で檜の森の植林式が行われ、関係者や奥津小学校5年生の児童ら約35名が参加しました。式では檜の苗木の植え方について説明がされ、山崎町長と黒羽社長による最初の植え付けが行われた後、参加者により約100本の植林が行われました。

今回植えられた檜は、およそ30〜40年かけて建物の柱として使えるようになります。



中国四国管区行政評価局長表彰を受賞

5月28日(火)、ピュアリティまきびで開催された岡山県行政相談員全体会議において、鈴木覚さんが、行政相談委員として中国四国管区行政評価局長表彰を受賞されました。

多年にわたる地域住民の行政相談にたずさわられ、また小学校の児童を対象に生活と行政の関わりや行政相談制度についての出前教室を開催するなど、行政相談制度の普及・啓発等への大きな貢献が評価されての表彰となりました。



令和元年春の叙勲について

5月20日(月)、令和元年春の叙勲の伝達式が鏡野町役場応接室で行われ、下円宗寺地区元区長の寺岡修止さんが旭日单光章を受賞されました。寺岡さんは平成7年1月に鏡野町下円宗寺地区の区長に就任して以来、22年間の長きにわたって鏡野町、大野地域、下円宗寺地区の発展に貢献されました。

この受賞は、住民自治を基盤とする地方自治の担い手としての住民自治組織に対する認識を高め、地域住民の福祉の向上と、明るく活力に満ちた郷土づくりが大きく貢献されたことが評価されたものです。

